

障がい者カヌー



Point



介助者の心得

1 一人ひとりの違いを理解しよう

障害の状態や生活習慣、考え方は一人ひとり違います。

★一人ひとりに合わせたサポートを本人に確認しながら行いましょう。



2 介助される方の意思を大切にしよう

本人の意思を確認しながら、「できないことを補うサポート」ではなく、本人ができることは自分で行い、「できることを増やすサポート」を心がけましょう。

★できないと決めつけず、「チャレンジ」する気持ちが大切です。

★一緒にチャレンジする気持ちで、安全を確保し見守りましょう。

3 安全を意識しよう

自然の中には、日常生活にはない危険があります。

転倒などの危険を事前に予測し、事故防止に努めましょう。

★できるだけ一人ではなく、周囲の仲間と一緒に安心・安全なサポートを行いましょう。



4 笑顔で声掛けをしよう

介助される方が安心できるサポートには、一つ一つの動作に対しての声掛けや笑顔などのコミュニケーションが欠かせません。

無言で難しい顔をしてサポートすると、介助される方が不安に思ってしまう。

★一緒に楽しむ事を忘れず、笑顔でサポートしましょう。



【車いす介助の注意点】

- 動く前は、手や足の巻き込みはないか確認しよう
- 急な操作はしない
- ゆっくり押そう
- 坂道や砂利道は後ろ向きに進もう

動きます



参考：一般社団法人 日本障害者カヌー協会 発行、「カヌー漕ごうよ！たのしいよ！ for Staff book」